

道

2019年3月1日
(第41号)



小田川

居酒屋で日本酒の熱燗を頼んだ。一口飲んで、えらい辛口だなあ。それが第一印象。二口目、そやけど、これ、銘柄、なんやろ。三口目、やっぱり変。「なあ河合さん、この酒、どう思う?」。同席の飲み仲間にも聞いかける。彼「うん? 言われてみれば、なんか違う気がする」。四口目、「あっ、これ、麦焼酎じゃ」。

▼居酒屋の店員が日本酒と焼酎の瓶を間違えて燗をしたのだった。それにしても、日本酒通を自認する我ら、形無しである。やれ「無濾過」がいいとか、甘口だ辛口だの、純米が、あの銘柄が旨いだのと、いろいろ御託をならべていた自分が恥ずかしい。もし、安い酒を高い酒の瓶に入れて出されても分からず「この酒最高」などと言って飲むんだろうな。▼さて、話は変わる。昨年十二月でケアマナを「卒業」するつもりでいたが、そうもいかなかった。真備町で一番大きなケアマナ事業所が事業を縮小して、新たな受け皿が必要になった。その新ケアマナ事業所を手伝うことになる。被災した家がどんどん倒され更地が増える一方、新しく家が建て直されている今の真備。どれだけの人がこの地に戻ってこれるのだろうか。ここで、もうひと踏ん張りする。ケアマナとしては、酒のような「思い込み」は許されない。

〒710-1301
岡山県倉敷市真備町箭田 5188
TEL. 090-5366-1497
MAIL michi-care@outlook.jp
H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林 道 也



寝室の襖（よく見れば酒ラベル）